

福祉サービス第三者評価結果報告書(平成29年度)

2017 年 12 月 28 日

港区長 殿

郵便番号 180-0006

所在地 武蔵野市中町1-34-3-409

評価機関名 株式会社クリップ

認証評価機関番号

機構 02 - 043

電話番号 0422-59-0351

代表者氏名 林 暢介

印

以下のとおり調査を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	村上 龍男	経営	H0405022
	②	安藤 時子	福祉	H1101035
	③	山本 慎介	福祉	H1301059
	④			
福祉サービス種別	保育室			
調査対象事業所名称	港区南麻布三丁目保育室			
事業所連絡先	〒	106-0047		
	所在地	港区南麻布3-5-15		
	電話番号	03-3443-5711		
事業所代表者氏名	園長 藤本 礼子			
契約日	2017 年 7 月 12 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2017 年 8 月 3 日			
利用者調査結果報告日	2017 年 10 月 16 日			
自己評価の調査票配付日	2017 年 8 月 3 日			
自己評価結果報告日	2017 年 10 月 16 日			
訪問調査日	2017 年 10 月 19 日			
評価合議日	2017 年 10 月 19 日			
コメント (利用者調査や訪問調査に置いての工夫点)	保護者へアンケート方式による利用者調査を実施しました。合わせて評価者がフロアに入り滞在調査も実施しました。利用者調査終了後、双方の意見に相違がないよう事業所との合議の時間を設定しました。訪問調査では、オリジナルの資料を用い、利用者調査・職員調査の分析結果を説明、意見交換をしました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自分の夢を自分で実現できる人になって欲しいと願う。 2) 自主性を育てる。 3) 個性を大切にする。 4) 思いやりの気持ちが育つ「心の基地」をめざす。 5) 自然との触れ合いを大切にする。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>保育に対する思いはそれぞれでも、互いに相手を思いやり尊重し、チームの仲間としてコミュニケーションを取り合い保育をすることができる人材。 園運営の向上のために努力を惜しまないで仕事に向かうことができる人。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>常に子どもにとって良いと思う保育を心がけること。(自分たちがやりやすい保育ではない)</p>

[ver.2]

調査対象

アンケートは、在園児81名中76名の保護者に配付、49名から回答を得ました。回答者の利用者属性は、母記入42名・父母一緒3名（無回答4名）、平均年齢36歳でした。

調査方法

アンケートは職員より手渡しや連絡帳に挟み配布しました。保護者からは、同封の返信用封筒での直接郵送と園が設置した投函箱の2ルートにより回収しました。

利用者総数	81
利用者家族総数(世帯)	76
共通評価項目による調査対象者数	76
共通評価項目による調査の有効回答者数	49
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	64.5

利用者調査全体のコメント

保護者アンケートは、76名中49名から回答を得ました(有効回収率65%)。総合的な感想について、24名(49%)が“大変満足”、17名(35%)が“満足”、5名(10%)が“どちらともいえない”、1名(2%)が“不満”、1名(2%)が“大変不満”、(無回答1名)と回答しています。事業所の好感を持った出来事として78件のご意見を頂きました。参考となる意見として「一つ一つ褒めたり、コメントしてもらって子どもが嬉しそうにしている。」や「日中の活動の写真を貼っていただき、保育園での、取り組みを知ることができ嬉しいです。」や「今年度から知育や体操といったプログラムが増えて良かったです。」等と意見があがりました。こうして欲しい等のご意見として53件のご意見を頂きました。参考となる意見としては「園庭が無くなった後に、地震・火災等災害時の避難はどうするのか、遊ぶ場所はどうするのか知りたい。」や「保護者が協力できることがあったら教えていただけたらと思います。」等と意見があがりました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	47	1	1	0
47名(96%)が“はい”、1名(2%)が“どちらともいえない”、1名(2%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して16件のご意見を頂きました。参考となる意見として「刺激的でアートや工作活動も素晴らしいです。」や「色々なことに挑戦させていただいている。」との意見があがりました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	44	5	0	0
44名(90%)が“はい”、5名(10%)が“どちらともいえない”と回答しています。質問に対して16件のご意見を頂きました。参考となる意見として「子どもは興味を示し、参加することは楽しんでる。」や「家でも歌や、今日何をしたか、身振り手振りで教えてくれます。」との意見があがりました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	46	3	0	0
46名(94%)が“はい”、3名(6%)が“どちらともいえない”と回答しています。質問に対して19件のご意見を頂きました。参考となる意見として「おかずの種類が多く、子どもの食への興味に刺激となっていると思う。」や「毎日工夫されて、なおかつ美味しそうです。」との意見があがりました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	45	4	0	0
45名(92%)が“はい”、4名(8%)が“どちらともいえない”と回答しています。質問に対して16件のご意見を頂きました。参考となる意見として「園庭があるので十分に外で体を動かさせていると思います。」や「行事などは協調性を育てるために大変有意義だと思います。」との意見があげられました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	32	1	0	16
32名(65%)が“はい”、1名(2%)が“どちらともいえない”と回答しています。質問に対して12件のご意見を頂きました。参考となる意見として「急な申し出にも嫌な顔せず対応して下さり有難かったです。」や「柔軟に対応してくれます。」との意見があげられました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	34	11	4	0
34名(69%)が“はい”、11名(22%)が“どちらともいえない”、4名(8%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して11件のご意見を頂きました。参考となる意見として「これまで何も問題ありませんでしたし、心配な事はないです。」や「対策はなされていると思っていますが、具体的な内容は把握できていません。」との意見があげられました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	38	8	1	2
38名(78%)が“はい”、8名(16%)が“どちらともいえない”、1名(2%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して13件のご意見を頂きました。参考となる意見として「行事毎にアンケートを取って、次に活かす工夫をしていて年々良くなってきています。」との意見があげられました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	42	6	1	0
42名(86%)が“はい”、6名(12%)が“どちらともいえない”、1名(2%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して18件のご意見を頂きました。参考となる意見として「いつも協力的で何でも相談に乗ってくれます。」や「親身に受け応える姿勢が見られて良いです。」との意見があげられました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	40	8	1	0
40名(82%)が“はい”、8名(16%)が“どちらともいえない”、1名(2%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して13件のご意見を頂きました。参考となる意見として「設備は古いですが、綺麗に掃除されていると感じます。」との意見があげられました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	37	10	2	0
37名(76%)が“はい”、10名(20%)が“どちらともいえない”、2名(4%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して15件のご意見を頂きました。参考となる意見として「ひとりひとりにとても親切に笑顔で接して下さり安心します。」や「子どもに使って欲しくない、覚えて欲しくない言葉遣いをされることがあるので気を付けていただきたいです。」との意見があげられました。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	42	4	1	2
42名(86%)が“はい”、4名(8%)が“どちらともいえない”、1名(2%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して7件のご意見を頂きました。参考となる意見として「いつもしっかりケアしてくれて助かっています。」との意見があげられました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	32	7	1	9
32名(65%)が“はい”、7名(14%)が“どちらともいえない”、1名(2%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して11件のご意見を頂きました。参考となる意見として「私自身、対処方法が分からないので是非教えていただきたいです。」との意見があげられました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	42	6	1	0
42名(86%)が“はい”、6名(12%)が“どちらともいえない”、1名(2%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して10件のご意見を頂きました。参考となる意見として「子どもも先生を信頼しています。」や「自主性を重んじてくれているのが嬉しい。」との意見があげられました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	38	7	1	3
38名(78%)が“はい”、7名(14%)が“どちらともいえない”、1名(2%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して6件のご意見を頂きました。参考となる意見として「先生によって違いがある。」や「時々、連絡帳など置きっぱなし(開いたまま)の時がある。」との意見があげられました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	36	11	2	0
36名(73%)が“はい”、11名(22%)が“どちらともいえない”、2名(4%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して13件のご意見を頂きました。参考となる意見として「連絡帳に書いていない情報をもらえると嬉しいです。」や「メールなどで連絡網があると良いと思います。」との意見があげられました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	25	7	0	17
25名(51%)が“はい”、7名(14%)が“どちらともいえない”と回答しています。質問に対して11件のご意見を頂きました。参考となる意見として「対応できるところはなるべく改善してくださっていると思います。」や「個人面談の時に色々相談させていただいています。」との意見があげられました。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	23	4	19	3
23名(47%)が“はい”、4名(8%)が“どちらともいえない”、19名(39%)が“いいえ”と回答しています。質問に対して9件のご意見を頂きました。参考となる意見として「そこまで相談することはない。」との意見があげられました。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当

カテゴリ1の講評

会社の「経営理念」「事業目的」の全職員への周知徹底が急がれます。

保育室の運営受託会社の「事業目的」、「企業理念」とそれらを踏まえた保育室の「保育理念」、「保育方針」が利用時に保護者に配付する「ご利用のしおり」に表示されています。「ご利用のしおり」は、入職時に全職員に配付され、「事業目的」、「企業理念」と「保育理念」、「保育方針」について、説明がされています。保育の専門家組織として「保育理念」等の理解と浸透が図られている一方、保育室の存在理由や事業継続の意義を示す「事業目的」、「企業理念」についての周知策に欠け、理解を深めるための更なる取り組みが急がれます。

経営層は明示された権限に沿って組織運営と外部対応に取り組んでいます。

園長以下職員の役割と責任は、「園長の役割」、「保育室組織表」、「職務分担表」、「会議一覧」に明示され、年度初めに園長が作成した年度の「事業計画書」「職務分担表」等の諸表が職員に配付され、園内の業務分担等の周知が図られています。園長は、隔月開催の区保育室園長会や半期毎に開催の区立園長会議会に参加する等の外部対応や社内の「園長会議」への参加、職員会議の開催等の園内業務全般を管理監督して、円滑な業務運営に取り組んでいます。

重要案件は会社本部と区担当課間の折衝で決定されています。

保育室の経営や組織運営等に関する重要案件は、区の担当課と会社本部との関わりの中で決定され、決定事項の内容に応じて区の担当課ないし会社本部から園に伝達され、職員会議の場等で職員に周知が図られています。保護者へは、毎月発行の「園だより」によって園から報告されていますが、園舎の建て替え等と言った最重要な課題や案件は、区担当課が保護者会を開いて、直接伝えています。

カテゴリ-2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(●●●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(●●●●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

倫理意識等に関わる職員の接遇態度の向上策の策定実施が急がれます。

保育に従事するプロフェッショナルとして求められる職業倫理に関しては、「全国保育士倫理綱領」を事務室脇に掲示すると共に、児童憲章、児童福祉法の抜粋を「ご利用のしおり」に掲載し、更には、「保育所保育指針」の勉強会を開催して職員の倫理意識の涵養に努めていますが、保護者のアンケート結果からは、職員の言葉使いに問題ありとされ、職員の接遇に関わる研修の徹底した取り組みが急がれます。また、法が求める公益通報者保護規程の策定や改正社会福祉法に沿った体制整備と職員研修の実施が待たれます。

保育室の開放や専門性の地域還元に向けた取り組みが求められます。

区の方針に基づき、保育室の業務運営の透明性の確保に向けて、東京都福祉サービス第三者評価の受審が、開園3年目を迎えた今年度から導入されました。近隣地域への保育室の存在や活動に関わる情報提供、保育室の機能や専門性を活かした庭の開放や妊婦を対象にした育児相談、勉強会の企画・開催といった地域還元策の取り組みやボランティア受け入れによる職員、子ども達と外部の有為な支援者との交流策の実施が今後の課題となっています。

待機児童受け入れ態勢の整備が共通課題となっています。

地域関係機関のネットワークとして立ち上げられている区立保育園合同園長会、区保育室園長会や主任会議に園長や主任が参加すると共に、区主催の保健担当者会や給食担当者会等の専門職ネットワークに資格保有職員や担当職員が参加して、地域関係機関との交流を通じた情報交換や連携に取り組んでいます。地域ネットワークの共通課題として、待機児童受け入れの態勢整備や職員の処遇改善が課題となっています。

カテゴリ3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(●●●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(○○●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ3の講評		
<p>苦情解決第三者委員会の機動的な活動が待たれます。</p> <p>苦情解決については、「ご利用のしおり」に「要望・苦情等に関する相談窓口」の項目を設け、「苦情対応のためのしくみ」のフローと受付担当者、責任者に加え会社東京本部の連絡先が明示され、入園時に保護者に面談を通じて周知が図られています。個別の苦情等は意見箱、行事アンケートや個別面談等を通じ収集され、必要に応じて東京本部と連携して解決が図られていますが、会社ホームページの「苦情解決の対応について」のフローに明示されている第三者委員会は保育室には無く、同委員会の機動的な活動が求められます。</p> <p>利用者全体の意向の把握とサービス向上への活用が急がれます。</p> <p>利用者の意向把握については、行事アンケートや個別の意見要望の聴取に留まり、利用者全体の意向把握の取り組みは今後待つ状態です。保育室が提供する保育サービスの最終評価者は利用者であることから、その全体意向の把握は利用者本位のサービス提供や会社や保育室の理念実現に不可欠であり、保育事業の担い手としての保育室の経営力と業務品質の向上、経営の方向性展望に向けて欠かせない取り組みです。満足度調査等の実施要綱の策定やサービス改善委員会等の設置といった活動の中核を担う仕組みの構築が求められます。</p> <p>収集した地域福祉情報や事業動向情報の分析と活用が求められます。</p> <p>地域の福祉や保育ニーズに関わる情報は、園長が参加する区立保育園合同園長会や区保育室園長会、資格保有職員が参加する区主催の保健、給食担当者会や保育室の催しに参加する保護者等から収集し、また、福祉事業全体の動向に関わる情報については、区の担当部署等から収集していますが、これらの情報の整理、分析と活用に関わる制度的な取り組みが、今後の課題となっています。</p>		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 10/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(○○●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 **4/4**

評価項目1
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー4の講評

会社と保育室の理念の実現を図る中長期計画の策定が急がれます。

中長期事業計画は、中長期に亘って、会社と保育室の理念実現と事業環境の変化に適合する経営構造の変革への道筋を示す、事業経営に欠かせないものですが、区が定めた保育室の存続期間が5年間と有期なため、中長期計画の策定は見送られている状況です。有期とは言え、保育室の将来像を描き、その実現に取り組むことは、職員の向上心を促し、保護者の安心感と信頼感を得ることに繋がる、重要施策です。必要に応じて会社本部や区担当部署と共同して、保育室としての中長期計画を策定すると共に、その室保育内外への明示が急がれます。

年度の「事業計画」には年度目標や重点取り組み課題等の明示が求められます。

保育室の年度「事業計画」には、「保育課程」、「保健計画」、「給食計画」、「指導計画」、「年間行事一覧表」等の保育室の業務運営に関わる計画と、「会議一覧」、「研修計画」、「組織表」、「職務分担表」等の組織運営に関わる計画が明示され、職制に応じた業務への取り組みが実施されています。「年度計画」には、職員と保護者の意向や保育室の状況、職員の負荷や子どもへの影響等も勘案して、年度の目標、重点取り組み課題の方法や達成時期等の明示が求められ、会社本部と連携し、職員も参画した計画策定の仕組みの構築が急がれます。

保育室内の安全確保と情報の共有化に取り組んでいます。

保育室内の安全確保や防災・防犯対策については、災害時の職員役割分担表を事務室に掲示して職員の意識喚起に努め、保護者には、「ご利用のしおり」に緊急時・非常災害対応の項目を設け、保護者用連絡網、災害伝言ダイヤル、緊急メール配信サービス、避難場所等を明示して説明し、周知を図っています。感染症やアレルギー等については、園医等からの情報を元に、職員会議等で予防や蔓延防止について検討し、対応しています。

カテゴリー5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(○○●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(○○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(○○○●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ-5の講評

職員の育成に繋がる人事管理制度の導入が急がれます。

保育室としての人事管理については、有期の施設ということから、職員に適用される人事管理制度は導入されていませんが、モラルやモチベーションの向上と有為な人材の発掘と育成に繋がる人事管理制度の早期導入が求められます。人材の募集は会社ホームページ上に掲載された募集案内や現職々員からの紹介を通じて、本社人事担当部署で行われています。異動や配置については、職員本人の意向調査等に基づき、3月末の定期異動で実施されています。

保育室として個人別の研修計画を策定して職員の能力向上を図っています。

園長は、自らが独自に作成した個人面談表を活用して、11月からの2ヶ月程の期間に職員と面談し、職員毎の職務や能力に対する希望等を把握しています。把握された希望や能力等は、本社の階層別・スキル別の研修カリキュラムや国、都、区等の公共機関が実施する研修予定等と照らし合わせて職員毎の年間研修計画に落とし込まれて、受講が進められ、職員の能力向上が図られています。

人材マネジメントの適正な運用が期待されます。

来年度にキャリアアップ制度の導入が予定されていて、人事管理、人材マネジメントの適正な運用が期待されます。職員のモラル向上に向けては、永年勤続表彰制度やフィットネスクラブが無料で利用できる制度等が設けられていますが、職員のアンケート結果からは遣り甲斐や福利厚生に対する満足度が低く、メンタルケアや休暇取得等についての制度的な取り組みが待たれます。

7			7	
7 カテゴリー7				
情報の保護・共有				
サブカテゴリー1(7-1)				
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる 評点(000)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している 評点(0000)				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている			<input type="radio"/> 非該当
7 カテゴリー7の講評				
情報の適正な保護・管理に努めています。 情報の保護・管理については、情報の重要性と機密性を踏まえて、電磁的情報に関しては、アクセス権限がパスワードによって管理され、紙媒体の情報は施錠管理されています。保管情報は必要に応じて随時更新され、情報の劣化を防ぎ、利便性を高める取り組みが図られています。				
「個人情報保護法」に沿った取り組みが求められます。 個人情報の取り扱いに関しては、区の個人情報保護条例に基づく旨を示した「個人情報の取り扱いについての項目を「ご利用のしおり」に設け、保護者に入園時に、個人情報の取り扱いや利用目的等について説明がされています。プライバシーポリシーと「個人情報の取り扱い」については会社のホームページに明示されていますが、利用目的、開示請求の方法、保護方針やプライバシーポリシー等の保育室館内掲示に加え、園業務に関わる外部業者の個人情報保護規程の取付け等といった法に沿った取り組みの実施が期待されます。				

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

子ども達の体力向上に向け体操教室を開設しました。
 幼児クラスの増設に伴い、子ども達の体力向上に向け、園庭遊びの時間を増やし、体操教室を開設したところ、保護者からは子どもの体力増強に繋がったと言う声が聴かれました。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

職員面談を通じて個別研修計画の策定と受講で職員の能力向上が図れました。
 職員面談を通じて、今年度から職員毎の本人の希望や能力に沿った個別研修計画を策定し、計画的に受講を進めたところ、特に若年職員の知識、スキルの向上が図れました。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

「ありがとう昼礼」で職員の自発性を養っています。
 日々の昼会議では、コスモ教育出版が発行する朝礼ツール「13の徳目」を利用して、「ありがとう昼礼」を行っています。「ありがとう昼礼」を行う事で感謝力が高まり職員同士のコミュニケーションや発表することで自発性を養い人材育成にも繋がっています。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

適正な財務状況の維持に努めています。

公設民営且つ有期の保育室として、的確な予算の執行管理と適正な財務状況の維持に努めています。事業経営の主体として、管理会計の導入と室の財務諸表の作成と公表が待たれます。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

利用者の全体意向の把握に努めています。

利用者の全体意向の把握に向けたアンケート調査や結果の集約・分析と言った制度的な仕組みは今後の課題となっていますが、保護者からの意見を元に、行事開催時の参加受付場所や自転車置き場を都度工夫して、保護者から評価されました。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(○○●●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>入園希望者の見学には園長が丁寧に対応しています。</p> <p>入園希望者の見学は、見学会などで一括りにすることなく、園長自らが30分程度の時間をかけて個別に対応しています。見学時間帯についても、見学者の都合や希望に合わせて柔軟に対応しています。園見学には「子どもを他人に預ける」ということに大きな不安を抱えながら訪れる方も多くいますので施設のトップが責任を持って対応することで最初の安心を提供しています。</p> <p>定期的リーフレットの見直しを行いましょ。</p> <p>見学者などに配布しているA4二つ折りのリーフレットには、定員や開園時間などの基本情報は当然のこと、「保育理念・方針」「保育室の特色」「年間行事予定」「施設配置図」「所在地図」など主要な情報はひと通り記載されています。しかし、それらの内容は平成27年の開設当初から更新されていません。定員など大きな変更があったものもありますし、誤った情報を与えてしまわない様に定期的リーフレットの見直しを行いましょ。</p> <p>保育室の様子がわかるようなウェブサイトの提供が求められます。</p> <p>自治体のウェブサイトには、「名称」「連絡先」「所在地」「定員」「保育時間」といった基本情報が掲載されていますが、施設の特徴についての情報を得ることはできません。保育理念や保育方針は運営会社のウェブサイトにおいて示されていますが、全国で運営する認可保育所の施設情報は掲載されていても、南麻布三丁目保育室の様子がわかる情報が提供されていません。</p>		
サブカテゴリ2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

保育に必要な家庭の情報は、過不足なく収集しています。

入園時の面談では、港区の統一書式である児童票をベースにして、健康面、食事面についても細かく情報を収集することができるような書式を用いています。さらに、個人面談表を用いて面談を進めることで、担当者の聞き逃しや記載漏れを予防するものとなっています。

入園時には、サービス内容をまとめて記載した冊子を配布しています。

入園時には、「入園のしおり」を用いて施設の基本的ルールや重要事項などについて説明しています。トップに児童憲章、児童福祉法の抜粋があることで子どもを大切にす姿勢が伺えるほか、災害時対策については避難場所の地図が載っているなどの工夫が見られます。一方、「子ども・子育て支援法」に定められている「各職種の職務内容」「文書の保管」「虐待防止」といった重要事項についての記載がありません。認可外保育施設であることから法的な義務はありませんが、認可保育所に順じて整理しておいた方が良いでしょう。

重要事項については保護者の同意を得ています。

「入園のしおり」に記載されている重要事項について、同意書への署名によって同意の確認をしています。また、個人情報の取り扱いについても別に同意書を得るようにしています。ただ、個人情報の取り扱いも「入園のしおり」に記載されている重要事項ですので、同意書が複数あることにほとんど意味がありません。書類の用意や保管の手間、保護者の署名の手間、印刷費など、無駄にされていることがいくつか目につきます。

サブカテゴリー3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況 **8/12**

評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(○○○●●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

評点(○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○●)

評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー3の講評

情報共有のためのミーティングや会議を行っています。

日々の子どもの様子や家庭状況の変更などについては、毎日12時45分から15分程度の時間を使って行う「昼会議」の中で報告されています。これまで当日の連絡事項が主となっていましたが、今年度後半からは1週間の振り返りも定期的に行われるようになりました。また、月1回のクラス会議では当月のクラス活動を振り返り、担当者同士で意見交換をした上で、次月の計画立案へとつなげています。

子どもの成長に関する記録を増やしていくことが期待されます。

0～1歳児クラスの保育日誌には、個々の発達の姿や保育者の関わりが日々記載されています。しかし、2歳児クラス以上になりますと保育日誌はクラス活動が主となって、個別の様子が見えづらくなっています。2歳児クラスまでは家庭との連絡帳を活用して振り返りができる部分もありますが、3歳児以上になると担当者の記憶のみとなってしまいます。情報の共有や引継ぎなどに活かすことができるような記録を残していくことが望まれます。

指導計画の共有について認識を深めましょう。

「年間指導計画」「月間指導計画」「週案」「0歳児から2歳児までの個別カリキュラム」といった各種指導計画は、担当者間でよく話し合われた上で作成されています。一方、担当者以外にその内容を伝えたり相談したり、担当者以外から評価や提案を聞いたりするような機会がありません。また、保護者に対しても、所属クラスの指導計画を提示したり説明したりする機会がないようです。「保育課程」は、立ち止まって読むことができる場所に保護者の目線の高さに合わせて掲示するなど、保育活動の意図を伝えようとする姿勢を見せることが望まれます。

サブカテゴリ-5

5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
個人情報の取り扱いについては同意書により確認しています。 個人情報の取得や用途については「入園のしおり」「個人情報使用同意書」に明記されています。用途については就学先や転園先などへの情報提供にも触れられており、保育室として最低限必要な業務を制限することのないものとなっています。保護者とは入園の際にその内容を確認して、同意書に署名を得るようにされています。			
個人情報の取り扱いに注意しましょう。 3歳児クラス以上において、毎朝登園した際に、子どもの体温を始めとした健康状態や留意事項などを「視診表」に保護者が記入するようになっているのですが、クラス全員の一覧表になっているため、記入するときに他の子どもの情報がすべて目に入っています。登降園時間についても同様で、お休みなどの情報が一目瞭然です。感染症などが絡んできますと利用者間に無用なトラブルを招く可能性もあり、園長も改善策を模索されています。			
保育者としてふさわしい言動を身につけましょう。 一部ではありますが、子どもへの接し方、言葉遣い、表情などについて不適切な職員がいます。保護者調査において「挨拶がおろそか」「ニコリともされない」「すごい勢いでバウンサーを揺らす」「言葉遣いがフレンドリー過ぎる」「詰問調で話す」「叱り方がきつい」といった多くの指摘を受けていますし、訪問調査の際にも垣間見えました。「想いやりの気持ちが育つ『心の基地』を目指します」という保育理念に基づいて、職員が主体的に改善に取り組むことを期待します。			

サブカテゴリ-6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

10/11

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(○○●)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

外部研修の受講機会が保障されています。

職員配置に余裕があるとは言えない状況ですが、知識や技術を習得するため外部研修に参加する機会が設けられています。受講対象者は、職員本人の希望をもとに園長が選定する仕組みとなっています。一方、習得した知識や技術を保育室内の職員に周知したり共有したりする機会には乏しいため、保育の質の向上のための外部研修の充実が結果として業務の標準化を遠ざけてしまうことは懸念材料です。

職員間における保育観の統一が望まれます。

価値観も前歴も多様な職員集団が組織として機能していくためには、核となる理念や方針があって、その理念や方針を理解して共有してから、理念や方針を実現するための手法を模索していく必要があります。各種指導計画や行事企画をたてる際にも、担当者は理念、方針、目標の順に組織の方向性を確認することが求められますので、園長のリーダーシップのもと、個人ではなく組織としての保育観を統一することが望まれます。

職員同士の活発で主体的な意見交換が望まれます。

職員構成が安定しなかったという側面もありますが、「職員会議」や「リーダー会議」など職員が話し合うことができる機会があっても、単純な報告事項や行事の打ち合わせばかりで終わってしまうことが多いようです。クラス会議は機能しているようですが、決定事項が箇条書きされているだけの会議録では他クラスとの話し合いにはつながりません。保育観が統一されてからにはなりますが、職員同士で「子どもの姿」を話し合う時間を積極的に増やすなどして、「顔を合わせなければできないこと」が進められることが期待されます。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サブカテゴリ-4

サービスの実施項目	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
-----------	------------------	---------

1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)
---------------------------------------	------------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目1の講評

子どもの発達記録票に子どもの全体的な姿が見える工夫をしましょう。
年間指導計画が各クラスごとに立案されています。期毎に発達段階、季節自然環境、行事等も考慮した指導計画をもって保育に臨んでいます。また年間の食育計画や保健計画も立てられています。指導計画や保健計画には、評価・反省の欄が設けられているも、小さな欄のため1~2文の記入しかできません。計画への援助内容や配慮事項の記入欄はありませんが、これは評価・反省に大変必要なことです。子どもの発達記録票も支援の援助内容や配慮事項に基づいた評価・反省を行う等、全体的な姿が把握できる工夫が望まれます。

子どもが主体的に人や玩具に関われるような自由な雰囲気を作っています。
各クラスは、遊びの部屋と食事の部屋が分かれています。また食事のためのテーブルが設えてある部屋では、描画やパズルなどの机の上での遊びが出来るような玩具の配置があります。遊びの部屋には子どもが玩具を取り出しやすいように、手の届く範囲に玩具が設置されています。朝の受け入れ時の保育室では、子ども達が職員や来客にも、親しく関り、臆することなく膝に座ったり背中にもたれたりしながら嬉しそうに甘えていたり、好きな玩具を取り出して自由に伸び伸びと遊ぶ姿がありました。

外国人の子ども・保護者に対して出来る配慮を考えていきましょう。
園には、日本人とのハーフも含めて、18人の外国人の子ども達が通園しています。保育園では、朝晩の合同保育時には0歳以外は子ども達が一緒に遊び、各クラスでは特別に文化や習慣の違いを配慮しなくても、皆で一緒に行動し、互いに尊重し合った保育を行っていると考え特に支障をきたしてはいません。しかし「日本語が読めないのでニュースや食事のメニュー、活動がどうなっているか80%は分からないです」という外国人保護者からの困惑が寄せられています。子どもは分からなさを表現していないだけかもしれません。

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	評点(〇〇〇〇)
-------------------------------------------------------	----------

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

基本的な生活習慣は保護者と協力しながら身に付けていきます。

発達過程に即し、更に個々の発達に応じてトイレトレーニングや食事の習慣を身に付けています。トイレは、1歳児からトイレに座る習慣を身に付け、園では2歳児でパンツに移行しています。生活習慣の確立は、保護者の協力が必要です。保護者の協力を得るために、連絡帳や登・降園時の交流の際に伝えていますが、クラスにより等も息の通った情報提供になります。今年度は各クラス情報が一枚にまとめられて簡素な便りとなっていますが、クラス毎の方が保育内容や活動をより分かり易く伝えられ、保護者の理解や協力を得る上で有効かと考えます。

休息の長さや時間帯は保護者の意向も踏まえて対応しています。

昼寝は、ココトを使用し、食事の部屋とは違う遊びの部屋が子ども達のベッドルームになります。昼寝は、身体を休める時間と捉え、子ども達に入眠することを強制してはいません。眠くない子どもは静かにココトに横になっています。保護者からは、夕寝の依頼や昼寝の時間など、家庭の生活スタイルに合わせた要望があります。園では出来るだけ保護者の意向を踏まえ、個別に配慮しています。こうした保護者の意向に添った柔軟な姿勢に対しては、保護者から多くの感謝の声が寄せられています。

降園時には子どもの様子を出来るだけ保護者に伝える努力をしています。

当園時は子どもの様子を保護者からのメモを通して保護者と確認をしたうえで子どもを引き受けています。降園時は、出来るだけ担任が直接、その日の様子を話して引き渡すようにしていますが、勤務体制上、担任が直接話せないこともあります。できれば、その日の様子を聞きたいのが保護者の本音でしょう。ただ、多くの保護者から、帰り際に職員に声をかけてもらったり子どもが関わってもらうことへの感謝の声があがっています。迎え時の鼻汁の乾いた子どもの顔や、詰問調の話し方、感情的な叱り方等、保護者が不安を抱くような対応は改めていきたいと思います。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

子どもの興味や関心を中心にした製作活動を行っています。

3歳以上の子どもたちは、夏祭りの制作やお店屋さんごっこの制作の内容を、子ども同士で考え話し合っていて決めています。テーマは職員が子ども達が話していることからヒントを得て、子ども達に投げかけ、同意を得て決めています。こうした過程は子ども達が集団に生き生きと関わっていく導火線にもなります。何に興味を持ちどんなものを作りたがっているか、またどんなものなら楽しく作ることが出来るか、職員は子どもの発達段階と興味を考慮しながら制作活動を行っています。

保護者からは園外活動に対する強い希望があります。

戸外・園外活動として、園では園庭での遊びや園外散歩を挙げています。外遊びに関する保護者の関心も高く、園庭で伸び伸びと遊ばせてもらえることに感謝していると同時にもっと多く遊ばせてほしいという意見もあります。また今年度に入ってから戸外の散歩の回数が少ない等の意見もあり、保護者が子どもの外遊びへの関心度の高さが伺えます。園の目標に「自然とのふれあい」が掲げられています。遠足などの他、日常の保育の中でも自然とのふれあいを大切に、子ども達が自然に親しむ時間を創り出す工夫をしていきたいと思います。

園全体の決まり事を明確にし、子どもの自己調整の力をつけていきたいと思います。

園生活の中で、子どもたち同士のトラブルには、職員が中に入り、双方の気持ちを聞いて伝え、双方の納得の上に互いの気持ちが調整出来るように導いています。友達とのやり取りでは、「かして」や「どうぞ」「あとで」等の言葉かけを随時促し、言葉でのやり取りが成立するように働きかけています。順番を守ることや時間を守る事は日々の約束事として浸透しています。園庭の使い方等の全園児共通の決まり事は、年度当初に確認し、「約束を守る事」の意味を年齢に応じて説明し、子どもが自己調整の力をつけていけるように支援していきましょう。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

子ども達が興味や関心がもてるような保育内容を提供しています。

夏祭りは、各クラスの制作作品を壁面の装飾にして、会場の雰囲気を盛り上げました。お買い物ごっこは、子ども達と話し合っ、買い物の対象となる品々を制作して、ごっこ遊びになる過程も楽しみました。制作は、子ども達の希望を聞いたり、子ども同士で話し合っ決めて等、子どもが目的を持ち、興味や関心をもって取り組めるようにしています。その他リトミック指導や親子リトミック、体操指導、むかし遊び、四季折々の行事等々、子ども達が興味や関心を持ち、意欲的に取り組めるような保育内容を提供しています。

行事は子ども達が協力してやり遂げる喜びを味わえるような内容にしています。

クリスマスお楽しみ会では、クラスごとに劇遊びや楽器演奏を行っています。夏祭りの壁面装飾やお買い物ごっこの品物づくりでは、子ども達が皆で力を合わせて物を作ったり、一つの出し物を協力してやり遂げる等、共に行い共に喜びを味わうことが出来るようにしています。作ったり練習をする過程を通して、子ども達に仲間意識が出来る、達成感も仲間と共に味わえることが出来るようになります。いづれも家族の参加や協力も得て行われ、作る過程ややり遂げた喜びを子ども・保護者・職員の三者が共有できる行事となっています。

保護者の協力を得ながら共に楽しい行事が行われています。

行事に関する保護者への連絡は、クラスだよりで知らせています。運動会では、競技で使用する万国旗を保護者をお願いして作ってもらったところ、職員が驚くような見事な作品が返ってきて、運動会の会場も一段と華やぎました。保護者には競技の参加をしてもらう他、準備や当日の係りも一部の保護者をお願いして行いました。職員からは本当に親身に協力してくれた保護者に感謝の思いが溢れています。ただ、1名の保護者から担任数の減少と保護者に頼む仕事の量の増加に否定的な意見が寄せられています。理解を図れるような対応が求められます。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

食事内容に配慮し夜食も充実させています。

延長保育は、18時15分から19時15分までが基本延長とし、19時15分から20時15分までをワンモア延長として延長保育が行われています。前基本延長の場合は捕食が提供され、ワンモア延長ではおかず付きの夕食が提供されています。延長保育の部屋は2階の保育室で行われ、早朝の受け入れと同じ保育室にし、2名の職員態勢で臨んでいます。

子どもが穏やかに満足した時間が過ごせるように配慮しています。

早朝の受け入れ時も、早番の職員が子ども達を快く受け入れ、泣いている子どもは抱っこで受け取り、膝にのる子どもは快く受け入れる穏やかで自由で優しい雰囲気がありました。遅番で延長保育に当たる職員も、子ども達が遊びたい遊具を自由に使い、伸び伸びと楽しめるような配慮や、夕食後はゆったりとした時間を持ち、子どもは職員の膝に座ったり抱かれたり等、職員は子どもの気持ちや要求を受け入れてゆったりとした気分で過ごせるように配慮しています。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>テーブルスペースの部屋を活用して落ち着いて食事が出来るようにしています。</p> <p>各クラスともテーブルスペースと遊びのスペースがあり、食事時には場面を変え、気分も変えて食事に臨むことが出来ます。給食に関する保護者の評価も高く、感謝のコメントが多く寄せられています。また職員アンケートでも、食事に関する自己評価が最も高く、特にメニューや味付けに関しては100%の高い評価が出ています。毎月、食物や食事に関するマメ知識が載った楽しい給食だよりが発行されており、給食室と保護者とのパイプ役になっています。</p> <p>アレルギーや文化の違いに応じた食事を提供しています。</p> <p>アレルギーの子どもの給食は、除去食に関する個別のファイルを前日に確認し、翌朝、園長と給食室が再確認をしています。配慮の必要な子どもの給食はトレーに乗せて記名をし、除去食品をシールに記して貼付しています。除去食の受け取りは必ず担任が行い、園長、栄養士の確認を得てから保育室に運ばれます。また他の子どもの給食が混入することが無いように担任が必ず傍で食事を摂るようにしています。宗教上の理由による意向食は、保護者にメニューを確認してもらい、家庭から持参してもらうこともあります。</p> <p>食事の指導に関する配慮事項は共通認識をもって臨みましょう。</p> <p>園の給食の目標は「食物に対する関心」「食べる意欲」「自分の体を守る力を伸ばせる働きかけ」「楽しい食事」「望ましいマナー」等が挙げられています。野菜の栽培では収穫の喜びを味わい、野菜スタンプ等で表現を楽しんだり、調理活動をする等、意義のある食育活動を行っています。健康な子どもであれば食欲があり、美味しい給食は自然発生的に目標を概ねをクリアできる分野ですが、食事は社会な行為でもあり、マナーの習得や楽しく食べる事に関わる職員の対応や偏食への対応等、配慮すべき事項には、園としての共通認識をもって臨みましょう。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

年間計画を定めて健康診断や検診を行っています。

園委託医による健康診断を、0歳児は月2回、1、2歳児は月1回、3歳児は年2回 行っています。歯科検診も6月と11月の年2回実施し、当日欠席の園児は後日の受診が出来、全員受診しています。尿・蛭虫検査も年2回行い、園児の健康管理に注意を払っています。また年間保健計画を立て、定期的な保健だよりの発行は保護者に対する健康への注意喚起を促しています。

職員は子どもの健康指導に関する意識を高めて保育に臨みましょう。

手洗いやうがい・歯磨き指導等は生活の中に習慣として定着しています。感染症が流行すれば掲示し保護者の注意を呼び掛けています。また職員は救命講習、乳幼児の健康管理、喘息、アレルギー講習等に参加し知識を習得しています。しかし、常勤職員・非常勤職員共に自己評価が低いのが健康に関する項目です。子どもの健康や安全を守る指導は、日常の保育の場で行われていくものです。研修報告で知識を共有し、また年度当初には健康や安全に関する情報交換や内部研修を行う等をして健康維持に関する職員の意識を高めていきましょう。

安全に関する指導に共通認識をもって臨んでいきましょう。

夏のプール使用時はマニュアルを作り、昼会議でマニュアルを見合い、決まり事を確認合っています。日々の遊びの場面や、廊下、階段等で、してはいけない行動のルール等も、年度当初に全職員で確認し、守るべきルールに対する共通の認識をもって指導に臨みましょう。子ども達に「なぜ守らなければならないのか」を教えることは、安全への意識や自己調整力を高めます。リトミックや体操指導も、怪我の予防や防止に繋がります。健康や安全に関する取り組みに、生活全般を通して園全体の共通認識をもって臨むことが求められます。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

保護者への柔軟な姿勢が園への信頼感に繋がっています。

園では、急な残業や休みの予定を返上した急な保育の依頼に対しても、快く引き受け、保護者の諸事情に対応しています。急なお願いに対して、「快く受け入れてもらった」「急な連絡にも関わらず、捕食等出来る限りの手配してくれた」「夕方連絡でもご飯の用意してくれた」等、保護者から園側の誠意に対して感謝の声が多く寄せられています。こうした個々への出来る限りの配慮が、園と職員の信頼関係の構築に繋がっていると考えます。こうした誠心誠意な対応が、園の持ち味となっていくことを期待します。

保護者の不満には園全体としてしっかり向かい合ひましょう。

交流の場として個人面談や懇談会、給食試食会等を設けています。今年度は保護者参観と試食会・クラス懇談会をセットで行い、試食会で園児の生活をビデオで紹介し、保護者から好評を得ました。個人面談では、子育てに関する意向や園への要望などを記入してもらい保護者との話し合いをしています。しかし、保護者アンケートでは「不満にきちんと対応してくれたか」の質問に、「はい」が51%と低い結果となっています。明るさや柔軟な対応など保護者に好評な部分が多々ありますが、不満等には園全体で受け止めて対応し、信頼関係を築きましょう。

職員は保育者として互いに高め合っていきましょう。

年2回の懇談会は、職員と保護者が茶話会形式で和やかに交流できる場面です。しかし、朝夕の挨拶、交わす一言、二言のほんの短い時間でも人間性の交わりがあり、相互の信頼関係を育みし、また保護者の不安感を募らせる一瞬でもあることを職員は認識しましょう。保護者アンケートには、多くの保護者から職員の元気さややさしさなどに感謝の言葉が寄せられています。挨拶や子ども対応への指摘もあります。保護者からの意見は、職場全体で深く受け留め、保育者としてのあるべき姿を目指して互いに高め合える職場環境を創っていきましょう。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>他園との交流や地域との交流が始まっています。</p> <p>今年度は4歳児が少なく、同年齢の子ども達との活動を経験させるために、系列園に出向き交流を図っています。また近隣の幼稚園の夏祭りや作品展の見学をする等が交流の内容になっています。職員は、今年度から自治体のお祭りの手伝いをする事や、園庭を利用して行われる地域のラジオ体操に参加する等、地域との関りの一歩を踏み出したという状況です。</p> <p>交流の根拠を探り職員個々の認識を深めて今後も取り組んでいきましょう。</p> <p>散歩時や公園での散歩等で出会う人々との挨拶を子ども達と行っています。また町会の方とクリスマス会や敬老の集会、餅つき等に招待したり、今年度から町会の祭りにも参加して地域との交流を図っています。近隣の保育園同士の交流も図っています。様々な人との出会いや交流で子どもの経験を広げ、子どもの心を広げ社会性を養うことにも繋がります。交流の根拠を掘り下げ、その意義や目的を明確にし、職員個々の認識を深めて今後も取り組まれていくことを望みます。</p>		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保護者との望ましい協力関係が築かれています。
	内容	保護者アンケートには、日頃の職員の言葉かけに励まされ、親切な子ども対応に慰められ、夜遅くまで行事の準備していること等に対してのねぎらい等の他、行事の楽しさなどにも感謝の声が多々寄せられています。職員からは、協力的な保護者への純粋な感謝の思いが、その口調から伝わります。こうした相互関係を基に、行事等は家族の熱意ある協力を得て行われています。制作過程を楽しみ、親子で期待感を高め乍ら行事を迎え、子ども・保護者・職員の三者が達成感を共有します。それは子ども達に満足感を与え、明日への意欲に繋がっていきます。
2	タイトル	相互に「ありがとう」が言える機会を設けています。
	内容	日々の昼会議では、コスモ教育出版が発行する朝礼ツール「13の徳目」を利用して、「ありがとう昼礼」を行っています。所定の用紙には、一日の準備としての「今日の徳目」「今日の目標」、一日の振り返りとしての「13の徳目チェック」「ありがとうの言葉」といった項目の記載欄があり、出勤している職員は毎日記入することになっています。昼会議に出席する職員が自分が記入した内容をその場で自発的に発表することで、自分の人となりを周囲に伝えたり、感謝の気持ちを表現したりすることができるという、組織的な習慣となっています。
3	タイトル	個別カリキュラムが丁寧に作成されています。
	内容	0歳児クラスから2歳児クラスまでの月間指導計画における個別カリキュラムは、子どもの現状と当月の目標とをきちんと踏まえながら作成されています。ほとんど手書きであったり、書式そのものに改善の余地が大いにあったりしますが、その記載内容を読めば、作成の前段階としてクラス担当者同士がしっかりと子どもについて話し合い、様々な角度からのアプローチを検討していることを容易に想像することができます。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	南麻布三丁目保育室の存在意義をはっきりさせましょう。
	内容	運営会社、自治体、保護者、職員と、あちらこちらに気を配らなければならない保育室の事情についてある程度は理解できますが、組織としての主義主張が見えづらく、保育室全体が自力で走ってはいないように感じます。屋外門扉を開けてすぐの光景や廊下の掲示物などから受ける印象は怠惰ですし、朝の点呼や絵本の読み聞かせから受ける印象は惰性です。何となくやらなければいけないと思っていることを何となくやっていくのではなく、子どもたちの養護と教育を担っていることを自覚した主体的な姿勢を見せていくことが望めます。
2	タイトル	理念の実現を図る中長期計画の策定が急がれます。
	内容	中長期事業計画は、中長期に亘って、経営理念の実現と事業の継続性維持に向けて事業環境の変化に適合する経営構造の変革への道筋を示すものですが、保育室の存続期間が5年間と区に定められたため、中長期計画の策定はされていません。有期とは言え、保育室の将来像を描き、その実現に取り組むことは、職員の向上心を促し、保護者の安心感と信頼感を得ることに繋がる施策として重要です。保育室としての中長期計画を、必要に応じて会社本部や区担当部署と連携して策定すると共に、その保育室内外への明示が急がれます。
3	タイトル	職員の育成に繋がる人事管理制度の導入が急がれます。
	内容	保育室として、職員に適用される人事管理制度は導入されていませんが、モラルやモチベーションの向上と有為な人材の発掘と育成に直結し、提供する保育サービスの質の向上にも結果的に繋がる人事管理制度の早期導入が求められます。来年度にキャリアアップ制度の導入が予定されていて、適正・公正な人事管理、人材マネジメントの運用が期待されますが、多様な雇用形態に対応する仕組みの構築と適格性を持った人事考課者の育成が、併せて急がれます。